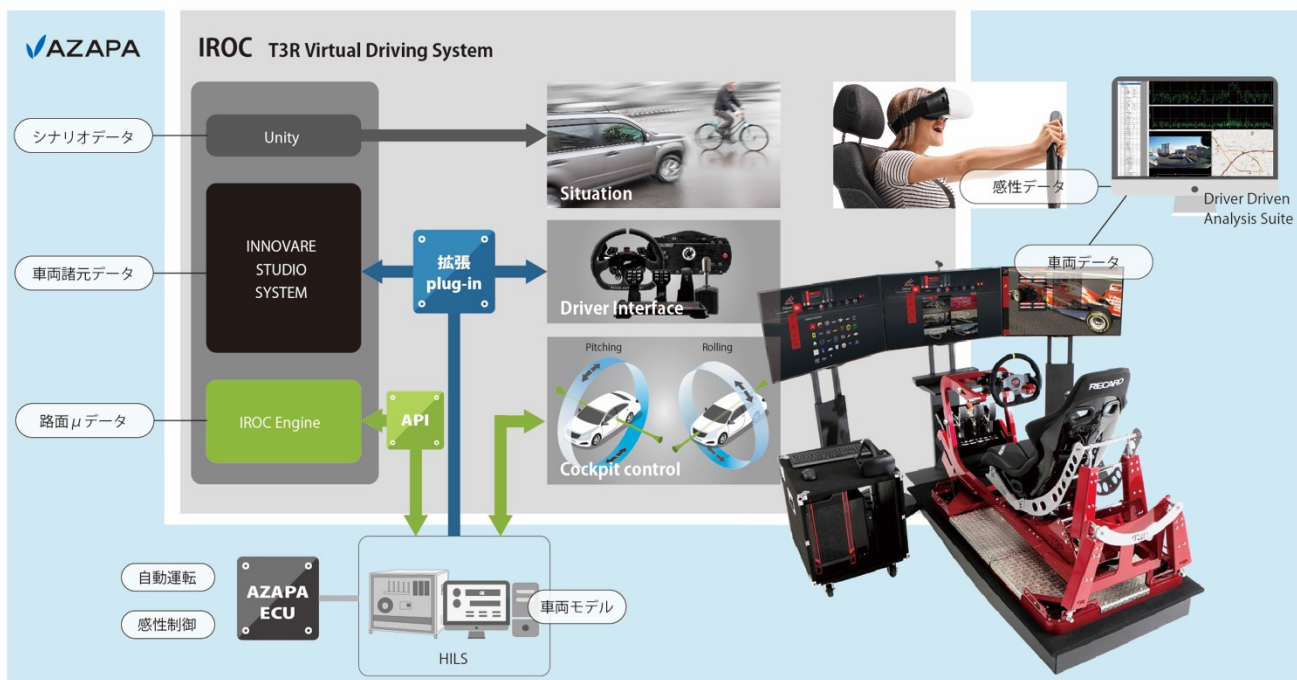


制御開発のAZAPAとアイロック、 MBD開発向け-VRドライビングシミュレーターを共同開発

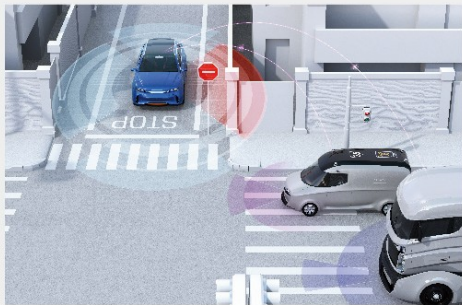
AZAPA 株式会社（愛知県名古屋市中区錦2-4-15、代表取締役 近藤康弘、以下AZAPA）と株式会社アイロック（名古屋市天白区福池2-350、代表取締役 古賀琢麻、以下アイロック）は、モデルベース（以下 MBD）開発向けの Virtual Reality（拡張現実、以下 VR）ドライビングシミュレーターを共同で開発します。新たに開発するシステムは VR 技術を利用し、ドライバーの運転判断や反応、ADAS・自動運転といった複雑なシナリオに基づいた運転状況を再現、自動車の制御システムがドライバーの感性にどのように影響するのかを定量化できる MBD 開発環境を提供します。

自動車産業は 100 年に 1 度の変革期と言われ、ADAS や自動運転などの高機能化、シェアリング等サービス事業者を始めとする新規プレイヤーの参入、更には全世界的なライフスタイルの変化による消費者の志向多様化が進んでおり、自動車における価値設計も変化を迫られています。AZAPA は、こうした自動車の価値設計を実現するためにモデルベーステクノロジーを基盤とした独自のプロセスを構築し、自動運転やドライバーの感性につながる技術を蓄積してきました。今回、アイロックが開発した VR ドライビングシミュレーターを基盤に MBD 技術を融合することで、自動車の価値を高める研究および開発をスピーディーに実現できる環境を提供します。



アイロックは、レーシングドライバーとして活躍する古賀が代表を務め、VR ドライビングミュレーターは、ドライバーの感性を最大限に追求すべく構築してきたシステムで、高速道路のわずかな溝や雪道でのグリップ感覚などの人体が受ける振動を、忠実に再現できるほど挙動の細やかさを有します。

本製品の解説



シナリオデータ

ADAS や自動運転における危険回避パターンや環境条件など多様なシチュエーションをシナリオとして入力することができます。シナリオは、実環境で配置されたカメラからのシチュエーション分析し、Unity に自動シナリオ生成できるような省力化についても研究しています。



路面 μ データ

AZAPA は、金沢大学と路面 μ を推定するインテリジェント・タイヤを開発しています。実際の路面データをセンシングし、本システムと連携することで、世界中の路面を模擬した解析をすることができます。



HILS X 制御開発

HILS (Hardware In the Loop Simulator) を利用したモデルベーステクノロジー基盤での制御システムを開発を提供します。車両モデルは、2018年8月より提供されるAZAPAのサイトからダウンロードすることで、すぐに具体的な開発やテストを進めることができます。



DDAS X 感性データ

DDAS (Driver Driven Analysis Suite) は、ドライバー感性を解析するシステムです。人工知能を備え、乗り心地や加速感、危険認識などのドライバー感性に起因する関係因子を解析することで、感性の定量化を実現します。

両社は、本共同開発を通じて自動車の新たな価値を設計する開発環境を提供します。
今後、業務提携を見据え連携を強くしてゆきます。

お問い合わせ先

AZAPA 株式会社 事業企画部

TEL 052-221-7350

E-mail: azp-sales@azapa.co.jp

URL: <http://www.azapa.co.jp>

株式会社アイロック

Tel: 052-895-3511

E-mail: info@t3rs.net

URL: <http://www.t3rs.net>